

表紙物語

今月の表紙は、8月2日から6日まで湯口SSにて、相馬ねぶた愛好会のねぶたが飾られた期間限定の様子である。

去年に引き続き、今年も弘前ねぶた祭が中止となったことから「少しでも地域の人達にねぶたの気分を味わってもらいたい」と言う福島直人会長の思いから実現した。製作期間は3カ月間程で、久しぶりのねぶたの活動に役員らは制作に奮闘していた。

完成したねぶたには「疫病退散」と肩に書かれており、早くコロナウイルスが終息し、またねぶたを地域一体となって楽しみたい思いが込められている。

湯口支所に飾られたねぶたは存在感がともあり、給油中の方や待機中の方の目を引きつけていた。福島会長は「弘前ねぶた祭が無くて多少でも地域の人々がねぶたまつりの気分になってくれると嬉しい。来年こそは祭の開催を願っている」と話していた。



2年ぶりのねぶた作成に熱が入る会員ら



役員で完成の記念撮影



コロナ終息を願った「疫病退散」の文字



鮮やかな色で見た人を圧倒させる袖絵と見送り絵

JA相馬村広報

りんごの森

2021.8 Vol.469

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年8月21日

JA 相馬村概況

〈令和3年7月末日現在〉

組合員数	864人
(うち准組合員数)	373人
出資金	618,010千円
貯金額	9,754,138千円
共済保有高	3,239,552万円